※令和３年度以前入学生用

学校番号	T1202

令和５(2023)年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	2～4年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自作教材、実習教材、プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

服飾手芸は、生活デザインコースの中の家庭科選択科目です。
手芸の技法に関する知識と技術を身に付け、手芸品を創作し日常生活に生かす能力を育てます。
積極的・主体的に実習等に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

各種手芸の種類・特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得し、手芸品を創造的に製作し、服飾や日常生活に活用する能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	服飾手芸や手芸の種類と変遷、各種手芸の技法などに関心をもち、手芸品製作に意欲的に取り組むとともに、実践的な能力を身に付けている。	伝統的な手芸品についての技法や特徴を理解し、自分自身の生活の中のファッションデザインに生かす能力を身に付け、自分らしさを表現できている。	各種手芸の技法などに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、それを活用して手芸品を創造的に制作することができる。	各種手芸の基本形や文化・技法などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	・出席状況 ・提出物 ・平常の学習活動 ・学習態度 ・自己評価 等	・安全作業への留意 ・作業内容における用具類の選択 ・各種手芸の技法を活用して生活に生かそうとする実践的な態度 等	・各種手芸における技法などの基礎的基本的技術が身につき、計画に従って製作できる能力 ・作品類のできばえ 等	・手芸における工程の理解 ・技術の応用 ・提出物 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4・5月	刺繍	○オリエンテーション ・科目内容を理解する ・刺繍の文化・歴史 ＊刺繍の基礎	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:刺繍の基礎について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:刺繍の基礎的な技術の習得に課題を見いだし、その解決をめざして適切に判断し表現している。 c:刺繍の基本的な技術を身に付けている。 d:刺繍の基礎や配色に関する基礎的な知識を理解している。	・授業観察 ・ワークシート ・作品制作の取組状況確認 ・作品提出
6・7月	クロス刺繍の作品制作	○刺繍品の製作 ＊クロス刺繍の作品 ＊ブックカバー	○	○	○	○	a:クロス刺繍の作品製作について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:ブックカバー製作において図案を考えて自分らしさを表現し、その製作過程で課題の解決を目指している。 c:作品製作を通して、クロス刺繍や縫製の基礎的な技術を身に付けている。 d:クロス刺繍に関する知識を身に付け、それを服飾に活用する意義を理解している。	・授業観察 ・ワークシート ・作品製作の取組状況確認 ・作品提出 ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

9・10月	編み物	○編み物の基礎 ・編み物の文化・歴史 ・編み物の種類と特徴 ○編み物の基礎（かぎ針） ＊ゲージの取り方 ○編み物の作品製作 ＊アクリルたわし	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	a：編み物の基礎について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：編み物の基礎的な技術の習得において課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：デザインやサイズのとり方、基礎的な編み方の技術を身に付けている。 d：かぎ針編みに関する基礎的な知識を理解している。	・授業観察 ・ワークシート ・作品製作の取組状況確認 ・基本の編み地の作品提出
11・12月	編み物の作品制作	○編み物の基礎（棒針） ＊ゲージの取り方 ＊1目ゴム編、メリヤス編、ガーター編、なわ編 ○編み物の作品製作 ＊マフラー/ネックウォーマー	○	○	○	○	a：棒針編の作品製作について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：製作計画を立て、その製作過程で課題を見出して判断し、自分らしさを表現している。 c：作品製作を通して採寸、ゲージの取り方、平編み、輪編み、等の技術を身に付けている。 d：棒針編みに関する知識を身に付け、それを服飾に活用する意義を理解している。	・授業観察 ・ワークシート ・作品製作の取組状況確認 ・作品提出 ・定期考査
1月	レザークラフトの作品制作	○レザークラフトの作品制作 ・道具の扱い方を学ぶ ＊コインケース ＊ペンケース ○仕上げの仕方を学ぶ	○ ○	○ ○	○	○ ○	a：レザークラフトでの作品製作について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：製作計画を立て、その製作過程で課題を見出し、適切に判断して表現している。 c：作品製作を通して、レザーや道具を扱う技術を身に付けている。 d：レザークラフトに関する知識を身に付け、それを服飾に活用する意義を理解している。	・授業観察 ・ワークシート ・作品製作の取組状況確認 ・作品提出

※令和３年度以前入学生用

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。